

ハッピー&スマイル 8号

発行者
社会福祉法人楽寿会
特別養護老人ホーム楽寿荘
四倉町上仁井田字横川67
Tel. (0246)32-6381



雛祭り



二月二十七日、まだ寒い中、楽食の日はやってきました。

三月三日のひな祭りの日が近いので、ひな壇を飾って鑑賞したり、食堂のテーブルにはひな人形などの飾りつけをして、利用者の皆さんと一緒に雛祭りの気分を味わいました。

「わー、かわいいお雛様だなあ」と笑顔で話す利用者もいて、皆さんとてもなごんでいました。お昼が近くになると、利用者の皆さんは「まだか、まだか」と食事が来るのを楽しみに待っていました。

メニューは、ほたてご飯、なめこ汁、煮魚、茶碗蒸しで、食事の最後のデザートにストロベリーババロアができました。皆さん笑顔で「おいしい」「もっとちょうだい」とおいしくいただきました。

三月三日の雛祭りの日には、ちらしご飯、はまぐりのお吸い物、うどとふきの煮物、春菊のごまみそ和え、デザートにイチゴゼリーもでて、お祝いしました



お雛様と一緒に



ショートステイ

楽寿荘短期入所生活介護事業所（ショートステイ）では、利用される皆様に充実した毎日を過ごしていただくために、利用者同士のふれあいや交流も大切なことだと考えています。

スタッフは、楽寿荘でのひとときをより楽しんでいただけるよう、レクリエーションにも力を入れていきます。

この日のレクリエーションは「ストラックアウト」ボールを5つ投げてもらいボールが貼りつけばその数字が得点になり、数字の合計のたし算も利用者の方にしてもらいます。



レクリエーションの前に準備体操を行っています。

ボールを投げるのが得意でも計算が苦手な方、計算が得意でもボールを投げるのが苦手な方などいろいろな方がいますが、ボールが貼り付けば歓声や拍手がおこり、合計の得点がうまく出てこない時などは周りから声援やこっそり答えを教えてくれる方など、参加して熱くなり観戦しているだけでも楽しく、自然と利用者の方達が一つになれる人気のレクリエーションです。

節分



二月三日節分の日、職員が扮装した青鬼や赤鬼達、侍が楽寿荘内を利用者や、職員を笑わせながら行ったり来たりしていました。「キヤー」とこわがり叫んだり、「あははは」と面白がって笑ったりしながら節分に用意した豆やチョコレートを各々掴んでは鬼たちに向かって撒きはじめました。みんな口々に「福はー内。」「鬼はー外。」「福はー内。」と大きな声を出しながら撒いていました。怖がっていた利用者も、楽しそうに笑顔を浮かべながらみんなと笑っていました。鬼たちは利用者たちの撒く豆に怯んだのか、逃げるように楽寿荘の外へ消えていきました。今年も鬼たちが残していったものは、みんなの笑顔と笑い声という「福」がいっぱいでした。



たくさんの福が訪れますように



介護教室

楽寿荘では、毎年、九月・十一月・二月に社会福祉協議会と協力して地域の方々に参加できる介護講座を開催しています。参加は自由であり、自宅で介護をされている方や将来の為に技術を習得したいと参加される方など様々です。

九月には基本的な介護技術として、立ち上がり介助・ベッド上での介助、お風呂の介助を行いました。十一月には高齢者の身体の疑似体験として体に重りをつけて、介護される側の気持ち体験しました。

今年度は二回の開催でしたが、参加された方々は技術を身につけようとして一生懸命でした。また講座の最後にはデイサービスの生活相談員が、在宅介護の相談コーナーを設けて、様々な悩みにアドバイスをする時間も設けました。

地域の方々との交流を通しながら地域の方々へ少しでも貢献できたらと思ひ取り組んでいます。



様々な介護技術の講習を行っています。

来年度も同時期に開催予定なので参加希望の方は楽寿荘事務室にお声を掛けてください。

楽寿会ホームページはこちらから



<http://www.rakujukai.com>



